

平成三十一年度 東京都立墨田川高等学校
推薦に基づく選抜

小論文

注意

- 1 問題は2ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は五〇分で、終わりは午前九時五〇分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えはすべて解答用紙に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 7 解答用紙の ☐ の欄には答えを記入しないでください。

次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

私も大学では、学生の力を引き出す責任を負っています。授業をしても、学生が何ひとつそこから持ち帰ってくれなければ、何の意味も無い時間だったことになります。私が担当している授業のひとつに二〇〇人くらいの大人数の講義があります。その授業は、大変チャタリングで示唆に富んだ一コママンガ(図1)を見せて、①教えると学ぶはちがうという話をします。マンガにはこんなシーンが描かれています。ある女の子が得意げに「私、犬のスポットに口笛を教えたの」と言っています。それを聞いた男の子が「スポットの口笛、聞こえないけどなあ」と首を傾げています。女の子は、教えたとは言っていますが、それはスポットが学んだかどうかとは別の話なのです。このことを最初に意識してもらおうのが工夫のひとつです。

教室をどう使うか、そのことにも注意が必要です。学校の教室は、知識伝達型の授業を前提にデザインされています。具体的に言えば、話している教師から生徒全員をよく見ることができ、聞いている生徒同士は互いに見えにくいうになっています。実際に教壇に立つとよくわかります。席に着いているとちよつと居眠りをしてもしつかれないだろうと思うでしょうが、教壇からは驚くほど一人ひとりの様子がよくわかります。机も椅子も固定式で、体を大きく捻^{ひね}りでもしないと隣の人の顔も見えないようになっています。

「人間は読んだことの一〇％は覚えている。聞いたことの二〇％は覚えている。見たことの三〇％は覚えている。自分で言ったことの八〇％は覚えている。自分で言っ^つてしたことの九〇％は覚えている」という言葉があります。一時間の授業をしても、聞いたことの二割〓一二分くらいしか覚えていないものなのです。そこで私は、教室でただ講義を聞くだけにならないように工夫しています。たとえば、毎回の授業のたびにちがう人とデートスケジュールを組んでもらいます。そして毎回、その違う人たちに、自分の意見を伝えて感想を聞いたり、質問してもらったりします。一人ひとり考え方や感じ方が違いますから、それを通じて多角的に物事を見る目を養い、いろいろな気づきを持ってもらうのです。

最初は誰しも自転車に乗れなかったように、やってみて初めてできるようになる。そんな風に自分の力が引き出されるのが、②学ぶことの本当の意味です。以前は大学の授業といえば、大人数の知識伝達型のものがほとんどでした。けれども最近では学生同士のディスカッションを進めてゆく



出典：バッド・ブレークのアイデアをイラスト化。

図1 教えたから学んだはず？ ロバート・チェンバース著 野田直人監訳『参加型ワークショップ入門』(明石書店)から

授業も増えています。教える側には生徒の力を引き出す責任がありますから、いろいろな工夫をしているのです。皆さんはどうでしょうか？ 自分でがんばるだけでなく、いろんな人たちの力を引き出せる知恵とノウハウを持っていますか。

最後にひとつ宿題を出しておきます。大きな災害があると、みなさんくらいの若い人が中心になって、足湯ボランティアがよく行われます。椅子とたらいを持って行って、たらいにお湯を張り、足を温めてもらうのです。ボランティアの人は被災者の正面にいて、「熱すぎませんか、温まってきましたか」などと声をかけます。この③足湯ボランティアは何のためにやるのでしょうか。もちろん単に足を温めるためにやるわけではありません。本当の目的は別にあります。

さて、それはなんでしょうか。この宿題も、少しでもみなさんの頭に何かを残してもらうための私なりの工夫です。今夜お風呂に入ったときに、そういえば足湯の話をしてたなと思い出してください。

『学ぶということ 〈続・中学生からの大学講義〉 1』ちくまプリマー新書・湯浅誠「人の力を引き出す」による

〔問1〕傍線部①「教えると学ぶはちがうという話」とあるが、「図1」で示している「教える」と「学ぶ」はそれぞれどういうことか。「教える」と「学ぶ」それぞれ二五字以内で述べなさい。、や。や「なども、それぞれ字数に数えなさい。

〔問2〕傍線部②「学ぶことの本当の意味」とあるが、あなたが考える「学ぶことの意味」を自身の経験を踏まえ、以下の書き方に従い、六〇字以上八〇字以内で述べなさい。、や。や「なども、それぞれ字数に数えなさい。ただし、次の二点を踏まえて書くこと。

「私は**A**という**経験**を通して、学ぶことの本当の意味を**B**と考える。」という形で、六〇字以上八〇字以内で書くこと。
〔**B**〕に入る学ぶことの本当の意味と、〔**A**という**経験**〕の関連性がわかるように書くこと。

〔問3〕傍線部③「足湯ボランティアは何のためにやるのでしょうか」とあるが、なぜ足湯ボランティアを行っていると考えるか。小論文の書き方を踏まえ、考えに対する具体的な理由を含め、あなたの考えを述べなさい。なお、書き出しや改行の際の空欄、、や。や「なども、それぞれ字数に数え、三五〇字以上四〇〇字以内で述べなさい。